

事務事業名	地域子育て支援センター事業(大東)	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G	子育て支援グループ	課長名	田中 孝治
施策名	(22)子育て支援の充実	担当者名	榎 博章	電話番号 (内線)	0854-40-1044 3626
基本事業名	(064)子育て環境の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業 011 115 110 015 111	地域子育て支援センター事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	地域や家庭におけるより良い子育て環境をつくるために、子育てに関する相談と同世代の親子の仲間づくりを支援する場として、また子育て情報提供の拠点施設として設置するもの。	国の少子化対策として実施された特別保育事業の導入に伴い、旧大東町時代の平成10年4月にあおぞら福祉会への委託事業として開設された。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度 (決算)	22年度 (決算)	23年度 (決算)	24年度 (計画)	25年度 (計画)	全体 計画
・委託料:8,002千円(H23国補助基準額に準じる)	国庫支出金	千円				4,001		
	県支出金	千円	5,335	4,001	4,200			
	地方債	千円						
	その他	千円						
	事業費計(A)	千円	8,002	8,002	8,002	8,002	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人	4	4	4			
	延べ業務時間	時間	293	293	293			
	人件費計(B)	千円	1,117	1,139	1,155	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,119	9,141	9,157	8,002	0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

①主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	指標名	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児不安等についての相談指導</li> <li>子育てサークル等の育成・支援</li> <li>特別保育事業等の積極的実施・普及促進</li> <li>地域の保育資源の情報提供等</li> </ul>	⑤活動指標							
24年度計画(24年度に計画している主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>育児不安等についての相談指導</li> <li>子育てサークル等の育成・支援</li> <li>特別保育事業等の積極的実施・普及促進</li> <li>地域の保育資源の情報提供等</li> </ul>	ア	件	140	140	140	140		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							

②対象(誰、何を対象にしているのか)	主として家庭内で保育されている就学前児童及びその保護者	⑥対象指標	単位	21年度 (実績)	22年度 (実績)	23年度 (実績)	24年度 (目標)	25年度 (目標)	最終 (目標)
		ア	人		153	120	117		
③意図(対象がどのような状態になるのか)	子育て中の親子同士が交流を深めたり、専門家の意見を聞くことにより、子育ての負担や悩みを解消し、ゆとりを持って子どもに対応することができるよう育児力を向上させる。	イ	人	0	306	240	230		
		⑦成果指標							
④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	子どもが心身ともに健やかに育つ。 子どもを持つ保護者が安心して子育てができる。	ア	人	21,004	18,360	18,000	18,000		
		イ	人	3416	1160	1877	1800		
		⑧上位成果指標							
		ア	%	40.5	51.1	61			
		イ	%	88.5	89.9	90			

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
子育て中の悩みをもつ保護者の負担を軽減するための事業として定着しており、事業を効率化しながら更なる充実が求められる。支援センター間の連携事業やその周知体制の構築も必要になってきた。	育児相談事業との連携により、より育児家庭支援の充実につながった。子育てサークルの育成にもつながっている。	子育て家庭の居場所(相談、交流、情報交換)として活用の場所があり安心して利用でき、支援の輪が広がることによる子育て全般の意識向上につながる。育児相談の開催回数を多くして欲しい。

事務事業名	地域子育て支援センター事業(大東)	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 育てを家庭だけでなく、地域全体で見守り育てる環境づくりとなる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 子育てに悩みや不安を持つ保護者が増加しており、それに対し国及び県とともに市が支援する必要がある。また、近年急増している児童虐待の防止や発見等の策の一つとして行う必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 事業実施要綱(国)に沿った子育て中の親子を対象としている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 地域ごとに設置しており、利用しやすい施設となっているため、子育てしやすい環境の場を提供している。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 市が実施する子育ての悩みや不安を持つ保護者へ対応する主要な事業がなくなり、安心して子育てしやすい環境とは言えなくなる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 合併後、居住する町を越えた利用もあり、市内5箇所の子育て支援センターの連携も必要である。市の事業としては、ほかに保健師が実施する育児相談と連携している。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業の成果水準を保ちながら、事業費の削減は困難。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 既に正規職員以外で対応している。また業務時間も今以上の要望があり削減の余地が見込めない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市全体では、子育て支援センターは市内5箇所で開催されている、旧町村単位に1つの設置でなくても、2町で1つ等、広域対応も考えられる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	子育て中の悩みをもつ保護者の負担を軽減するための事業として定着しており、事業を効率化しながら更なる充実が求められる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内子育て支援センターの有機的な連携も必要																									